

各支部・関係団体の長様

青森県剣道連盟
会長 増田知幸
(公印省略)

第70回青森県春季剣道選手権大会・第16回男女別年齢別剣道優勝大会
第50回東北総合体育大会(岩手県)・第78国民体育大会(鹿児島県)選手選考会
の開催について(案内)

上記大会を開催しますので管下関係者の皆様にご周知くださるようご案内申し上げます。

記

- 1 日時 令和5年5月27日(土) 9時開館、9時30分受付、10時開会式
- 2 場所 青森市民体育館<カクヒログループスタジアム>(青森市合浦二丁目9-1)
- 3 種目 (1) 団体戦 男女混合の5人勝者数法で、1団体2チームまでとする。
(2) 個人戦 令和5年4月1日を年齢基準とする男女別・年齢別で行う。
- 部 男子 ①25歳未満の部 ②35歳未満の部 ③45歳未満の部
④55歳未満の部 ⑤55歳以上の部
- 部 女子 ①30歳未満の部 ②40歳未満の部 ③40歳以上の部

※ 申込み者が1人の場合は、青森国民スポーツ大会準備委員会実行委員長、同委員会成年強化委員長、県剣連強化部長と協議し、最近の各所属での活躍、実績、戦歴等を総合的に勘案して最終的に大会長が決定する。

4 参加資格・所属県・年齢基準

「国体総則5に定められている参加資格・所属県・年齢基準によるものとする。」

年齢基準、日本国籍の有無、居住地、勤務地、ふるさと制度適用等の条件を満たしていること。

予選会の出場回数は1回とし、青森県外の予選会に出場した者はこの大会への出場はできない。

(1) 個人戦男子(原則として東北総体・国体に出場できる者)

- ①25歳未満の部(先鋒)1998年4月2日以降～2005年4月1日までに生まれた者
②35歳未満の部(次鋒)1988年4月2日以降～1998年4月1日までに生まれた者
③45歳未満の部(中堅)1978年4月2日以降～1988年4月1日までに生まれた者
④55歳未満の部(副将)1968年4月2日以降～1978年4月1日までに生まれた者
⑤55歳以上の部(大将)1968年4月1日以前に生まれた者

(2) 個人戦女子(原則として東北総体・国体に出場できる者)

- ①30歳未満の部(先鋒)1993年4月2日以降～2005年4月1日までに生まれた者
②40歳未満の部(中堅)1983年4月2日以降～1993年4月1日までに生まれた者
③40歳以上の部(大将)1983年4月1日以前に生まれた者

5 試合方法

(1) 全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、コロナ下暫定的試合・審判方法による。

(2) 団体戦は、4分3本勝負、引き分けとし、①勝者数、②取得総本数の順で勝敗を決する。

勝者数も取得総本数も同数の時は、代表者一人による4分1本勝負、延長戦は時間を区切り、延長3回毎に休憩を入れ、勝敗が決するまで行う。

なお、捕員と交代したら、その後の団体戦には出場できない。

- (3) 個人戦は、5分3本勝負、勝敗が決しない場合は延長戦、1本勝負を3分ずつ区切り、延長3回毎に休憩を入れ、勝敗が決するまで行う。

1

ただし、リーグ戦の場合は、5分3本勝負引き分けとし、勝ち点2点、引き分け1点の①
合計
得点順、②勝者数、③取得総本数の順で順位を決定する。
それでも順位が決定しない時は、上位2名により5分1本勝負、延長は時間を区切らず勝
敗が

決するまで、3名の時は、再度5分3本勝負のリーグ戦を行う。

6 代表選手の選出方法

各部門の優勝者を、青森県代表選手候補者とする。

ただし、代表選手の中に日本スポーツ協会が定める国体監督権を有する者が1名存在しなければならぬことから、優勝した者の中に監督権を有する者がいない場合は、以下の①～③の順で選手候補者を決定する。

- ①各部門の準優勝者の中に監督権を有する者がいれば、年齢の高い（大将・副将・中堅・次
鋒・
先鋒）順に、準優勝者を監督兼選手とする。
②準優勝者の中にも監督権を有する者がいなければ、先ず準決勝で優勝者と戦った第3位の
者、
次に準優勝者と戦った第3位の者の中から年齢の高い（大将・副将・中堅・次鋒・先鋒）
順に

監督兼選手として、選手候補者とする。

③第3位の中にも監督権を有する者がいない場合は、青森国民スポーツ大会準備委員会実行委員長同委員会成年強化委員長、県剣道連強化部長と協議し、監督権を有する強化指定選手の中から、大将・副将・中堅・次鋒・先鋒の順に選考し、最終的には大会長が指名した者を選
手候補者とする。

④なお、選手に選考された者であっても、その後に指定された遠征等を含む強化訓練に十分に参加できず強化不十分と認められる場合は代表選手を取り消すこともあり得る。

7 参加料・申し込み

- (1) 団体戦 1チーム 1万円（国体協力金1千円を含む）

申し込みと同時に、県剣道連盟口座へ、**チーム名**で、振り込むこと。

「青森銀行 観光通支店（店番128） 普通預金 1186049」

青森県剣道連盟 会計 古川信子（コガワノブコ）

- (2) 個人戦 1人 3千円（国体協力金5百円を含む） 当日受付で徴収する。

- (3) 申し込み 5月15日までに事務局鶴谷へ、郵送かメールで申し込む

〒038-0059 青森市油川字中道19-6 鶴谷直樹 宛

電話 090-9533-1568 MAIL

aomorikenkendo@ymail.ne.jp

8 体調管理及び新型コロナウイルス感染予防

- (1) スポーツ障害保険等への加入など、安全対策を講じること。
(2) 受付時の検温で、37.5度以上ある者は、入館及び大会参加もできない。
(3) 試合者は、鼻と口を覆う面マスクまたは口元を覆うマウスシールドの着用を推奨する。

9 その他

(1) 試合順序は、個人戦（国体選手選考会）を先に行い、その後、団体戦を行う。

(2) 前年度の優勝者は、優勝リボンをつけて、開会式で返還すること。

(3) 剣道具・竹刀

①竹刀検量を受けること。特に、先革・ちくとう部分の計測、中結いを点検しておくこと。

②面は肩関節を保護する長さであること。面紐の長さは40センチ以下であること。

③小手は前腕部の2分の1以上を保護する長さであること。えぐりは2.5センチ以下であること。

④剣道着は肘関節を保護する長さであること。

(4)現在の監督権取得者一覧(強化指定選手のみ抜粋)

①男子

鹿内修・渡邊大三・中村常信・足澤一成・鳴海一雄・二階幸喜・越善一臣・井田貴哉
木村秀樹・田村正人・前堀真・古屋敷誉将・洞内貴雄・倉本健・逢坂和志・榊和也
渋谷智秀・相馬健志・高田達・中村雅人

②女子

太田祐子・今井身知子・坪田琴美・石岡民子・安田麻衣・倉本みずき・齋藤とも(10月登録予定)

2

第16回男女別年齢別剣道優勝大会申込書

申込期日 令和5年5月

日

性別	種目	年齢	生年月日	国体監督権取得
男 女	<input type="checkbox"/> _____歳未満の部	歳	西暦 _____年____月____日 生まれ	<input type="checkbox"/> 有 _____年____月____日 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> _____歳以上の部			
称号 段位	氏名		勤務先(所属)	
____土 ____段				

第16回男女別年齢別剣道優勝大会申込書

申込期日 令和5年5月

日

性別	種目	年齢	生年月日	国体監督権取得
男 女	<input type="checkbox"/> _____歳未満の部	歳	西暦 _____年____月____日 生まれ	<input type="checkbox"/> 有 _____年____月____日 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> _____歳以上の部			
称号 段位	氏名		勤務先(所属)	

— 士		
— 段		

第16回男女別年齢別剣道優勝大会申込書

申込期日 令和5年5月

日

性別	種目	年齢	生年月日	国体監督権取得
男 女	<input type="checkbox"/> _____歳未満の部	年齢 歳	西暦 _____年 _____月 _____日 生まれ	<input type="checkbox"/> 有 _____年 _____月 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> _____歳以上の部			
称号 段位	氏名		勤務先(所属)	
— 士				
— 段				

3

第70回青森県春季剣道選手権大会団体戦申込書

申込期日 令和5年5月 _____日

申込責任者 _____

連絡先 _____

団体名				
順位	称号・段位	氏名	年齢 (5月27日基準)	性別
監督				
先鋒				
次鋒				
中堅				
副将				
大将				

捕員				
----	--	--	--	--

団体名				
順位	称号・段位	氏名	年齢 (5月27日基準)	性別
監督				
先鋒				
次鋒				
中堅				
副将				
大将				
捕員				